

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | |
|------------|----|---|----|-----|--|--|
| 児童療育教室らふいん | | 令和7年 5月 28日 | | | | |
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 1 | | ・法令で定められた基準を満たしておりますが、活動スペースが十分とれるように今後も工夫していきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | | ・基準を満たし、資格を持った職員配置を行っております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | ・活動に合わせた視覚ツールを用いている。 ・絵つきのポスターで理解しやすく子ども達にとってもわかりやすい。 | ・生活空間は、子どもに分かりやすいよう工夫しております。 ・2階へはエレベーターの使用が可能です。室内はバリアフリーになっていますが、トイレに段差があり必要時には改修を検討いたします。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | ・教具のアルコール消毒実施で感染症対策を心がけている。 | ・整理整頓を心がけ、安全な空間作りを工夫します。 ・室内・使用用具はアルコール消毒を行い、洗濯対応出来るものは定期的に洗濯を行い、心地よく過ごせる環境作りに努めております。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 2 | ・クールダウン必要時に全体と離れて過ごす事ができる（カーテン間仕切り） | ・カーテンで間仕切りを行い、必要に応じて個別対応が可能な場所を設けております。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | ・ミーティングを活用し職員の話し合いの場を作っている。 ・毎日のミーティングを実施。議事録作成 | ・毎朝振り返りのミーティングを実施しており、支援・対応方法について話し合い、職員間での情報共有を図っています。今後もPDCAサイクルを意識しながら、より効果的な支援が行えるよう工夫を重ねてまいります。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・保護者会や送迎等を活用し意向を確認し、ミーティングで話し合っている。 ・昨年の保護者会で要望のあった利用児童の活動の様子を発信している。 ・昨年の保護者会での要望を反映している。（活動写真発信） | ・週1でLINEにて活動中の様子（写真）を発信しております。今後とも活動報告を丁寧に行ってまいります。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | | ・日々のミーティングを活用し、意見等の把握に努め業務改善につなげております。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 6 | ・存在せず | ・第三者による外部評価は行っており、今後、検討してまいります。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 1 | ・積極的に声掛けしてくれている（応援制度あり） | ・施設内研修及び外部研修を活用し、職員の資質向上に努めております。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 1 | | ・支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | ・アセスメントやモニタリングを行いニーズや課題を分析し、支援計画を作成しております。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | | ・ミーティング等で個別支援計画を職員間で共有する機会を設け、計画に沿った支援が行われるよう努めております。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | | ・アセスメントツールを活用し、適応行動の把握を行っております。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 1 | | ・放課後等デイサービスガイドラインに沿ってモニタリングを活用し、本人・家族・関係機関・職員を含め、ねらいや支援目標の項目を設定しています。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | ・立案はミーティングで話し合いながら行う。また、各活動ごとの役割分担が出来ている。 ・月案をチームで作成後、日案は担当制。 | ・活動プログラムをチームで立案し、行動計画を担当ごとに起案しております。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 1 | ・学休日の外出支援や教室内での活動も同じものにならないよう、児童の利用日なども考慮しながら計画を立てている。 | ・プログラムが固定化しないよう、毎月話し合いを行い工夫しております。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 1 | | ・子どもの状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ個別支援計画を作成し、支援を行っています。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | | ・毎朝ミーティングを行い、役割分担の確認を行っております。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 2 | ・次の日の朝、ミーティングがあり、そこで支援の振り返りが出来ている。 | ・翌営業日にミーティングで振り返りや支援の共有を図っています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | ・議事録記入徹底している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 5 | 2 | | 「4つの基本活動」の支援が提供できるよう、月のプログラムを策定しています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | 2 | ・全体プログラムは無理強いせず、気持確認の言葉かけを工夫している。 | ・こどもが自己選択できるようプログラムを提供しています。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 3 | | ・必要に応じて連携が図れるよう体制を整えております。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | | ・関係機関と情報共有の機会を設け、支援内容等の相互理解に努めております。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 4 | | ・必要に応じて、支援内容等の情報共有と相互理解の機会を図っていきます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 3 | | ・対象児童はおりませんが、必要に応じて対応致します。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 3 | | ・連絡会や研修に積極的に参加し、必要に応じて助言をいただけるような機会づくりに努めています。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | | ・地域の児童館や、子どもを対象にしたイベントへ参加する機会を設け、事業所外の子どもたちとの交流する機会をつくっている。 ・地域の児童館において体育館を利用、図書館でのお話会に参加。 | ・地域の児童館や図書館、公園などを活用し、交流する機会を設けております。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 4 | | ・自立支援協議会の開催がある時は、積極的に参加しております。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | ・日々の送迎時やLINE等で子どもたちの様子や支援内容をお伝えしている。また、保護者からの要望や相談があった場合は毎日のミーティングで職員間で共有し共通理解を持てるよう努めている。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|---|
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 5 | | ・ペアレント・トレーニング等の研修の情報があれば保護者様へ情報提供を行っています。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | ・契約時や必要に応じて都度、説明を行っておりますが、ご不明点等ございましたらお気軽にお声掛け下さい。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 1 | | ・定期的に行っているアセスメントやモニタリングを活用し、お子様やご家族の意向を確認しております。必要時は都度の確認を行っています。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 1 | ・昨年実施の保護者会において保護者同士が交流していた。 | ・父母会を開催しています。また開催の際は周知を行っています。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | ・週一で活動中の児童の様子（写真等）を発信している。 ・活動の写真をLINEにて発信している。余暇活動時の事前活動連絡を発信している。 | ・活動予定を定期的に発行しており、活動報告を毎週LINEにて発信しております。令和7年度はHPやSNSを活用し発信予定です。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | ・全職員に勧告し、個人情報は鍵付きの書庫に保管しております。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 1 | | ・プログラムや活動の際は「絵」や「文字」を活用し情報伝達のための工夫を行っています。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 5 | ・分からない | ・事業所の行事に地域住民を招待など実施出来ておらず、実施できるよう検討していきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | 5 | ・マニュアルは作成しているが、訓練がなされていない。 ・未訓練 ・分からない | ・マニュアルは策定しておりますが、保護者への周知や訓練実施が不十分のため、周知・訓練実施に向けて計画しています。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | 2 | | ・業務継続計画（BCP）を策定しています。 ・非常災害の発生に備えた避難、救出、訓練について計画を策定しております。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 2 | ・対象児童がいない ・対象児童なし | ・利用開始時の保護者に確認を行っております。現在、該当児童がおらず必要に応じて対応致します。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 3 | ・対象児童がいない ・対象児童なし | ・利用開始時の保護者に確認を行っております。現在、該当児童がおらず必要に応じて対応致します。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 2 | ・ヒヤリハット、事故、ケガ、発生後、養生マットを貼る等の対策をしている。 ・分からない | ・室内活動や戸外活動時の活動計画を作成し安全管理を行っています。 ・療育室には安全性確保のためクッション性のあるマットを敷くなど対応しております。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 2 | | ・活動計画の基づき、家族との連絡を行っています。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | ・支援中ヒヤリハットの場面があった場合は、対応職員にて記録しております。またミーティングもその情報共有の場となっており、再発防止や対策について話し合いを行っています。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | ・虐待防止研修機会を行っており、研修後に所感等を職員へ記入してもらい記録している。 |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 1 | ・対象児童がいない | ・現在、対象児童はいませんが、必要に応じて対策を講じてまいります。 |